

昔の福津が見えてくる

新原・奴山7号墳の調査

新原・奴山古墳群のうち7号墳は、一辺が24メートルの方墳です。1988年に墳丘測量と範囲確認調査が行われています。墳丘上に玉砂利が敷き詰められ、鉄斧やコハク原石が表面で採集されたことから、祭壇だったのではないかという説があります。しかし、本格的な発掘調査は行わずに古墳を保存しているため、埋葬施設は未確認です。築造時期は、出土した須恵器から5世紀前半と推定されています。

世界遺産登録推進活動が進む中、この7号墳の位置づけ（墓か祭壇か）について調査研究に取り組み、平成26年12月に地中レーダー探査を、平成27年1月から墳丘中央の腐植土除去を主とした発掘調査を行いました。その結果、地中レーダー探査で埋葬施設と考えられる強い反応が得られ、その深さや範囲が



▲7号墳調査の様子

問い合わせ 福津市教育総務課(津屋崎庁舎) ☎52・4968

健康食品を選ぶときは慎重に

健康食品には、特定保健用食品（トクホ）と栄養機能食品、今年から導入された機能性表示食品とその他一般の健康食品があります。このように健康志向の食品が広がる一方で、業者が「病気が治る」と言い、高額な健康食品を多量に購入させる事例が見られます。

最近では健康不安から、健康食品やいろいろなサプリメントを購入する人が多いようです。しかし、これらは医薬品ではありません。あくまでも健康の維持や増進などを目的とした「食品」です。病気を治すためのものではないことを理解しておかなければなりません。加えて、持病のある人は、健康食品を利用する前に、必ず主治医に相談することも忘れてはいけません。摂取量や薬との飲み合わせによっては思わぬ副作用も。



問い合わせ

※毎週月曜・水曜・金曜日(9:00~16:00)は市役所福間庁舎で消費生活相談員が相談を受け付けています。
 ※福岡県消費生活センター(☎092・632・0999)でも随時相談を受け付けています。気軽に御相談ください。
 福津市生活安全課(福間庁舎) ☎43・8106

めざそう 男女がともに歩むまち



▲ペタペタと、ゆでたジャガイモをつぶすためには力がいらす

「不屈(福津)のパパ」の料理教室

9月27日、ふくとぴあ2階の調理室で、パートナーの出産を近い将来に迎える「パパ」向けの「パパスクール・ふくと」を開催しました。講座前に、参加者の一人にお話を聞くと、「家ではほとんど料理をしたことがない」とのこと。果たして、予定しているメニューが無事に出来るのでしょうか。

講師は、テレビやラジオなどにも多数出演されている、料理研究家で管理栄養士の「けんちゃん先生」。こと嘉村健志さんです。テーマは、「パパと調理」。日頃あまり料理をしていないパパでも作りやすく、ママと子どもへの離乳食や、おやつに使えるメニューを準備してくれました。最初に、けんちゃん先生から、今日の調理手順について説明を受け、各テーブルで、パパたちが協力して調理を始めました。

いっしょに参加したママの指導を受けながら、慣れない手つきで包丁を扱う新米パパがいる一方で、子ども用の包丁を持参して親子で参加したベテランパパは、さすがに手慣れた様子で材料を切っていました。パパたちが挑戦したのは、クリームポテトグラタン、茶碗蒸し、さつまいものケーキの3品です。進行状況に合わせて、「クリームポテトは、お子さんの月齢に合わせて、だし汁や牛乳でのばすと、離乳食に使用できますよ」とテーブルごとにけんちゃん先生が実践的なアドバイスをして回りました。パパ、新米パパには、子どもが離乳の時期を迎えたときには、今日のことを思い出して、ぜひ作ってあげてほしいと思います。調理開始から90分ほどで、予定していたメニューが完成しました。けんちゃん先生が、指導の合間に調理してくれた御飯、味噌汁といっしょにみんなで会食をしました。「育児」に熱心なパパたちですから、どのテーブルも、子どもの話で盛り上がりました。複数の工程を同時に進行しなければならぬ料理の大変さを学ぶと同時に、パパ同士の交流も深まった講座となりました。

問い合わせ 市男女共同参画推進室(福間庁舎) ☎43・8116

今月のイチオシ

図書館では1か月に2回半月ごとに一押しの本を集め特集コーナーを作っています。

特集テーマ 「児童虐待」

11月は児童虐待防止推進月間です。市立図書館の特集コーナーでは、「児童虐待」に関連したさまざまな資料を展示しています。

期間 11月29日(日)まで



DVD 「誰も知らない」是枝裕和監督 柳楽優弥出演

「誰も知らない」は、わずかな現金と短いメモを残して母親は家を出た。この日から誰にも知られることのない子供たちだけの漂流生活が始まった...

DVD 「起る前に考える子ども虐待小児科監修指導」

孤独な群衆がうごめく今、社会問題化している児童虐待をどのように理解したらよいか、6つの章に分けて解説します。

小学生向け 「まねっこでいいから」内田麟太郎文 味戸ケイコ絵 瑞雲舎

「まねっこでいいから」だっこを知らずに育つため、子どもを抱くことができない母に、娘は言います。「ママ、まねっこでいいから、だっこして」。

「It」と呼ばれた子 デイヴ・ペルザー著 ソニーマガジズ

母親によるすさまじい虐待から生き延びた少年が、裏切りや偏見に傷つきながらも、周りの人々に支えられ、大人になっていく物語。

中学・高校生向け 「ハッピーバースデー」青木和雄・吉富多美著 金の星社

精神的な虐待を受け続け声をなくした少女が、自然や祖父母の力で立ち直り、変わっていく姿を描いたベストセラー。

「傷つけられていませんか？」カーリン・コブ著 大月書店

「虐待されて当然、なんて人はどこにもいない」。家族や仲間、恋人との虐待的な関係と、そこから抜け出す方法を丁寧に説明する。

一般書 「生存者」と呼ばれる子どもたち 宮田雄吾著 角川書店

壮絶な児童虐待から生き延びてきた子どもたちが集まる、長崎県の情緒障害児短期治療施設。その子どもたちの再生を願う苦闘する人々の物語。

「日本の大課題」子どもの貧困 池上彰編 筑摩書房

貧困、虐待、DVなどにより家庭から隔てられた子どもはおよそ7万人。児童養護施設の現場から問題の実態とその課題と展望を描く。

●蔵書案内

図書館には、新しい本やDVDなどがたくさん入ってきます。御利用ください。

問い合わせ 福津市立図書館 ☎42・8000

夢と創造の交差点 Book Cd・DVD BLU-RAY